



白鶴美術館

開館

90

秋季の部

2024年
9月25日(水) - 12月8日(日)

周年記念展

本館

観古

いにしえをみる



新館

中東絨毯の美 — アナトリア編



重要文化財「四季花鳥図屏風」室町時代 狩野元信筆 ※展示期間毎月17日(日)・25日(日)

開館時間 10:00~16:30 (入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日 (10月14日・11月4日は開館、翌火曜休館)

入館料 大人 800円 / 大学・高校生 500円 / 中学・小学生 250円
※上記各団体20名以上2割引、65歳以上 500円

公益財団法人
白鶴美術館
HAKLITSURU FINE ART MUSEUM

90th Anniversary

開館90周年記念展

90th Anniversary

秋季の部

本館 観古 — いにしえをみる

新館 中東絨毯の美 — アナトリア編

昭和9(1934)年5月、白鶴美術館は、白鶴酒造七代嘉納治兵衛(雅号 鶴堂・鶴翁:1862-1951)の寄贈品500点をもとに開館しました。以来、東洋古美術を取蔵する美術館として、春・秋2回の展示を軸に活動を続けています。

今回の「開館90周年記念展 秋季の部」では、創立者嘉納治兵衛の文化人としての事績を辿りつつ、関連する日本・中国美術コレクションを展示いたします。

嘉納治兵衛は、奈良、興福寺に縁のある中村家に生まれ、幼少より古美術に親しんで育ちました。今回の展示品のうち、興福寺伝来2件の「四季花鳥図屏風」(展示替あり)は、幼少期に目にしていた絵画です。教職につき、後に漢学者を目指した京都での修学期を経て、明治20(1888)年、酒造業を営む灘の嘉納家(白鶴)に婿入りします。

三〇代より古美術蒐集を始め、趣味とした煎茶や抹茶においても古美術作品を扱い、同好の人びとに鑑賞する機会を供していますが、中国古代青銅器など、考古遺物の優品蒐集をきっかけに、昭和6年、コレクションの一般公開を目的として当館を設立しました。

是非この機会に、近代日本において嘉納治兵衛が志した美術思想普及に想いを馳せつつ、その人生を彩る美術作品をご覧ください。

なお、開館60周年記念事業により建てられた新館では、「中東絨毯の美 — アナトリア編」と題して、アナトリア絨毯20点を展示します。合わせてご覧ください。



「四弁花文帯缶」
殷時代



「青磁浮牡丹文香炉」
南宋時代



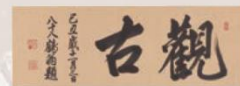
「勾玉」
古墳時代



重要文化財
「金銅小櫃」
白鳳時代



重要文化財「四季花鳥図屏風」(左隻)狩野元信筆 室町時代
展示期間 11/17(日)～12/8(日)



「観古」鶴翁(嘉納治兵衛)筆 昭和24年
展示期間 11/17(日)～12/8(日)



国宝「賢恩経」甲巻 奈良時代
展示期間 9/25(水)～10/14(月)

背景は「四季花鳥図屏風」(右隻)狩野元信筆 室町時代より

開館90周年記念イベント

歴史文化講演会 「興福寺から白鶴へ — 創立者をはぐくんだ奈良 —

日時: 10月20日(日) 14:00～15:30
講師: 吉川聡氏 奈良文化財研究所 文化遺産部長

(定員: 先着50名)

学芸員クロス・トーク 「われらが美術館は不易流行 — かわるもの・かわらないこと — そも、ご縁は幕末生まれのコレクター!？」

日時: 11月3日(日・祝) 14:00～15:30
クロス・トーカー: 実方葉子氏(泉屋博古館)×野口剛氏(根津美術館)×海原靖子(当館)
ナビゲーター: 鈴木幸人氏(大阪天満宮文化研究所)

(定員: 先着50名)

スライド解説 「観古(いにしえをみる) — 嘉納治兵衛と古美術」

日時: 9月28日・10月26日・11月23日(各月第四土曜日) 13:00～14:00
講師: 当館学芸員

(定員: 先着50名)

「屏風を知る」 「屏風装入門」 文化財ワークショップ特別講座 — 実践教材とあわせて理解する屏風の構造と扱い方 —

日時: 11月24日(日) 14:00～15:30
講師: 岡本論志氏 表具師 株式会社清華堂 代表取締役社長
武知直也氏 表具師 株式会社清華堂 工房長

(定員: 実践定員24名、聴講定員20名/実践受講ご希望者のみ、当日、正午より先着順に整理券を発行)

「屏風を知る」 「狩野元信筆『四季花鳥図屏風』の世界 アート・トーク — ようこそ! 極彩色のファンタジアへ —

日時: 12月8日(日) 14:00～15:30
ナビゲーター: マシュー・マッセルウェイ氏 コロンビア大学教授・パーク日本美術研究所長
高橋真作氏 東京国立博物館 主任研究員

聞き手: 当館学芸員 (定員: 先着40名)

「屏風を知る」 ワークショップ 「クルッと反転! 紙が要のミニ屏風」

日時: 11月10日・17日・12月1日 各日曜日 13:30～15:30

指導員: 甲南大学大学生 (定員: 先着12名)

本展エンディング
イベント

● 予定の変更や入場制限など、最新の情報は当館公式サイト及びお電話でご確認ください。 ● イベント参加には入館が必要です。 ● イベント参加予約は行っていません。ご参加は先着順(定員数まで)となります。 ● 「文化財ワークショップ特別講座」の実践受講ご希望者(定員先着24名)のみ、当日、正午から先着順に整理券を発行します。

インフォメーション



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 満森台行「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から北東約1km(徒歩約15分)

お車でのお越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
 - 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km
- ※無料駐車場あり(大型バスも可)

次回春季展は
2025年3月1日(土)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKITSURU FINE ART MUSEUM



《お問い合わせ先》
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001